

● 農事組合法人 ●
滝本水稻生産組合

地域と信頼関係大切に 農業振興に努める

輝くみらい人・仲間

(農) 滝本水稻生産組合

平賀基幹支店管内

組合長 おさない 小山内 ただみち 忠道 さん (56歳)

◇(農) 滝本水稻生産組合
設立：平成15年10月
(前身の任意組合は
昭和46年設立)
組合員数：158人
役員：14人(うち常勤3人)
職員：5人
パート：4人
経営概要 水稻106畝
(うち採種ほ77畝)
大豆24畝
(うち採種ほ21畝)
大豆加工事業
◇JAへ一言：地域農業振興のため、
今後も協力をお願いします。

「兼業農家や後継者不足、高齢化などで耕作できない人が増えている現状を解決したい。助け合い、地域農業を守る組合でありたい」と熱く語るのは(農)滝本水稻生産組合の小山内忠道組合長だ。

(農)滝本水稻生産組合では、組合員の水稻・大豆の作業委託のほか、雇用創出や地産地消のため加工(みそ・製粉受託など)を行っている。県の水稻種子生産ほ場に指定されている平賀水稻採種組合に所属しており、同組合で生産される半分以上の水稻種子を生産する。高齢化が進み、農作業受託が増えているが、作業できる若い職員の育成が課題と話す。小山内組合長は「春は種まきや田植え、夏は薬剤散布や草刈りなど作業が多いが、冬期間は作業が少ないため、年間雇用が難しい現状。組合の若い職員が安定した生活をできる環境に整えるため、年間雇用の体制を検討している。年間雇用が可能になれば、職員を育成でき、今よりも農地の保全と地域雇用を生み、地域振興発展につながる」と期待する。

作業効率を高めるため、施肥を同時に行える田植え機の導入、コスト低減のため肥料の一括購入など組合員の所得向上にも力を入れる。「組合員に信頼され、助け合い精神のもと役職員一同頑張りたい」と意気込む。